

### 令和 4 年 (2022) 皇紀 2682 年

### 新型コロナ大禍終熄退散祈願

大宮八幡祭り(秋の大祭)号【第124号】

http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/

### 主な目次

宮司巻頭言 2 貝
大宮八幡祭り(秋の大祭)のご案内 3頁
十五夜の神遊び 4 頁
杜の話題 5~8頁
大宮八幡の杜 秋も深まり9頁
初宮詣芳名・どんぐり通信10・11頁
大宮八幡祭り社頭風景 12頁



# 比叡山宗教サミット35周年記念 |界宗教者平和の祈りの集い」に参加して

# 大宮八幡宮宮司 鎌田紀彦

を継承するものとして、山田恵諦第 原点である祈りを通じて平和への誓い 年の1987年 平和祈願集会」が開催されました。翌 タリア・アッシジに集い、「世界宗教者 山宗教サミット」が開催されました。 を新たにする」という「アッシジの精神\_ マ教皇ヨハネ・パウロ二世の呼びかけ 一五三世天台座主の提唱により「比叡 以来毎年比叡山延暦寺に国内外の諸 1986年 10月27日に世界の宗教指導者がイ (昭和61年)、当時のロー (昭和62年)、「宗教の

れます。

国立京都国 際会館で開 周年を記念 参りました。 捧げられて 和の祈りが 宗教者が集 して8月4 7、世界平 今 年、 35 「の午前、 Ag. Gengena AND PRANTA

(神社新報社提供)

の開催であります。 変動と宗教者の責務」を主題に掲げて の集い」実行委員会が主催し、「気候 ト35周年記念「世界宗教者平和の祈り 今回のサミットは比叡山宗教サミッ

りを捧げたい。」と述べられました。 め、共に祈り、世界平和を希求し続け 昌宏師が35年の歴史を振り返りつつ 全人類が平和の恩恵に浴するために祈 回時のメッセージを今一度思い起こし、 ことを心掛けねばならない』という初 て来た『宗教者は常に弱者の側に立つ して実行委員長天台宗宗務総長の阿部 が登壇して始まり、まず主催者を代表 - 私ども宗教者は対話に相互理解を深 開会式典は午前10時に各宗教代表者 次いでローマ教皇フランシスコ聖下

花・ヒマワリが飾られていました。

の祈りを込め会場にはウクライナの国 ロシアの軍事侵攻が続くウクライナへ

られました。

祈り」の時に実行委員会の事務局の をさせて頂いた事が懐かしく思い出さ か京都へ出掛け、専ら裏方のお手伝い た。小生35年前の第1回「世界平和の 和の祈りの式典が予定されておりまし (当時明治神宮に奉職)として何度 一隅会館前特設広場に於いて世界平 務局長ジェームズ・パグワン氏、アジア 牧男氏、太平洋教会協議会(PCC)事 神社宮司で京都大学名誉教授の薗田稔 和研究所所長東洋大学名誉教授の竹村 氏、世界宗教者平和会議日本委員会平 題してシンポジウムに移り、埼玉秩父 おける宗教―心の回復力(レジリエン 記念講演があり、「歴史的大転換期に 所会長多摩大学学長寺島実郎氏よりの ス)を求めて―」を拝聴しました。 次に「気候変動と宗教者の責務」と その後、一般財団法人日本総合研究

登山口より西塔・横川を経由して比叡 和の祈りの式典35周年を迎えた今年は 山山頂駐車場を経由して会館前で下車 長和田惠久巳師が進行役を務めました。 にて移動。大原を廻り琵琶湖大橋近くの 午後3時より比叡山山頂での世界平 午前の部が終了し、昼食後に専用バス

内外の若手宗教者等によって行われ、 又35年の歩みを紹介する過去の映像も 表された比叡山メッセージの朗読が国 次いで第1回比叡山宗教サミットで発 正佼成会理事長國富敬二師が述べられ 開会の挨拶を実行委員会副委員長・立 各宗教者代表が登壇されると、 まず

後、天台宗

会式が、午

総本山

比

叡山延暦寺

教皇庁諸宗教対話評議会議長から伝え よりの「平和のメッセージ」がローマ

> デスモント・カーヒル氏の四氏が登壇 宗教者平和会議(ACRP)実務議長

映し出されました。

し実行委員会委員で立正佼成会総務部

者を代表して実行委員会名誉顧問の 平和の祈りを捧げました。次いで主催 中、平和の鐘が打たれ、参加者一同は が山上に轟き渡りました。雨音の響く ることが求められていることを話され 寄り添って支えとなり積極的に対処す 宗教者を前に気候変動に苦しむ人々に が吹き込む中、 歳の大樹孝啓天台座主はステージに雨 朗読の最中に突如として激しい雷鳴 傘の下で約500名の

式典は中止となり、 も止んでいました。 ませんでした。バスにて下山する頃雨 教別の祈り、平和の交歓などは行われ その後も雷雨が収まらなかったため 予定されていた宗

(神社新報社提供)

(令和4年8月10日記)

大

### 帶別新型 回

除いて中止のやむなきに至っておりました。 神輿合同宮入りをはじめ各種神賑行事は一部を が必要となっています。秋の大祭は2年続いて から一旦新規感染者数が減少の傾向を見せまし 以降上昇に転じて第7波に突入し、一層の警戒 長引く新型コロナウイルス禍は今年になって 強い感染力を持った変異株により、7月

代ほか神社関係者に氏子の皆様を代表して参 殿前までを個別に時間を区切って実施されるこ りました。御神輿の社参についても合同の形式 各氏子地区・睦会の実状に応じて行うことにな 神幸所の開設や氏子区域内の御神輿の巡幸は るべく」、本年はできる限りの感染対策を講じて もわたって厚い崇敬の心を寄せられてきた大 ますが、地域の氏子、崇敬者の皆様が幾世代に 除き本年もやむなく中止することになりました。 ととなりました。また、各種神賑行事は一部を ではなく、18日の午後1時以降に神門前から拝 協議検討した結果、「秋祭りの空気を復活させ 宮八幡宮のご祭神への誠を捧げ、責任役員・総 **ご本殿における諸祭儀は案内範囲の縮小は致し** により今年の秋の大祭斎行方法について慎重に こうした事態を受け、責任役員はじめ関係者

新型コロナ禍熄滅 祈願 決定されました。 列頂き、厳粛に 執り行うことが

使の参向を仰い である例祭が斎 10時からは神社 諸祭儀の最重儀 本庁よりの献幣 9月15日午前 当宮年間の

幣使 例祭ではまずご本殿の御

早期終熄退散を祈願して奉納されます。 による弓の神事三々九手挟式が新型コロナ禍 雅楽会による舞楽が、午後1時より小笠原宗家 ンテスト作品展が開催されます また、氏子奉幣祭終了後、 神門内では小原流献華展、 11時30分より佼成 第9回フォトコ 期間

行されます。

早期終熄退散も祈願され は新型コロナウイルス禍の 奉茶に続き、宮司が祝詞を 奏上します。宮司の祝詞で 扉をお開き申し上げ、献饌・



神事は本義に基づき厳粛に執り進められます。 ます。次いで、全国8万の神社を包括する神社本 庁よりの幣帛が献ぜられ、献幣使の祭詞奏上。

られた美風でもあります。 は他の神社でも極めて稀であり、 で、大宮・方南南・方南北・和田東・和田 お開き申し上げ、献饌、宮司の祝詞奏上。 **例祭**が斎行されます。17日午後6時からは**宵宮** 子区域の氏子・崇敬者各位により代々伝えてこ ご神前にて祈願詞を奏上する祭典の趣旨、 に至るまでのご加護を祈願します。氏子が直接 浄財を氏子幣としてご神前にお供えし、 松ノ木の氏子6地区から寄せられた赤誠こもる 斎行されます。氏子奉幣祭ではご本殿の御扉を 祭が斎行され、18日午前10時より氏子奉幣祭が 同の感謝の心をご祭神に申し上げ、 翌16日午前11時には若宮八幡神社・白幡宮の (祭礼委員長)が氏子祈願詞を奏上、 大宮八幡宮氏 子々孫々 氏子奉 氏子 次い 形式 西

涼殿ロビーでは9日より23日まで恒例の重

### 菊被綿神事 例祭(献幣使参向) 大宮八幡祭り期間 -の祭事

白 幡 宮 宵宮祭 氏子奉幣祭 神輿神霊返し祭 第35回 神輿合同宮入り 奉茶(裏千家)(淡)東京第6西支部 終了奉告祭(直会乃儀) 各神幸所清祓・宮司巡拝 神輿神霊入れ祭 例祭 9月8日夕刻~翌朝 9 9 月月 19 19 日日 9 月 中18 止日 9 月 17 日 9月15 9 月 17 日 9 9月16日 月16

## 賑

第24回 菊被綿飾り 献燈提灯 秋の弓道奉納射会(門人のみ)弓道場振武殿神殿祭 第42回 献華いけばな小原流展 盆栽展示会 奉納書画行燈 大宮幼稚園 園児神輿宮入り **流展** 9月9月9月179日~9月10日~1923日日~19日~19日~19日~19日~19日~19日日~19日日 9月11日 9月15日 中

町内神輿社参 スカウト神輿宮入り 野点茶会(裏干家)(淡) 東京第6西支統 (昼間) 9 9 9 月月月 18 18 18 日日日 中止

スカウトバザー

18

中

方南エイサー踊り 大宮幼稚園 園児民謡踊り

9 月 18

9月17日

舞楽(佼成雅楽会) 小笠原流三三九手挟式 9 月 18 日

第9回フォトコンテスト作品展 9 月 16 日 11 ~ 月 1923 日 日 9月15日~

十五夜の神遊び (十三夜)第2回

露

店

陽の節句菊被綿飾りが展示されます。

10月8日

## 小笠原流三々九手挟式

は騎射といいます。 地上で弓を引くのを歩射。馬上で引くの

はこの縁起の良い的にちなんだ「三三九煎 納されております。尚、当宮のご祈願祭で くことから、井桁の数より三々九の挟物と 的の裏には三寸毎の井桁の切れ目が入っ の儀式で、文武を統べる道として天下泰平 いわれています。(小笠原流ホームページより) ています。この板的を串に挟んで立て射抜 の裏には十文字の切れ目が入り、後弓の板 もコロナ禍終熄退散を祈り奉納されます。 を祝う射礼として行われており、併せ本年 4日の弓始式の時に限り行われた厳格な弓 九寸(陽の最大の数)と規定されています。 八寸(陰の最大の数)、後弓(陰の射手)は的の一辺の長さは、 前えき (陽の射手) は 当宮では草鹿式と隔年で秋の大祭に奉 的は杉又は桧の板的を用い、前弓の板的 古来三々九手挟式は、武家社会では正月



### 第 24 П 菊湯湯の湯湯の節点 旬



咲く花で破邪 国では仙境に 菊は、古代中 菊を飾ります。 の季節に咲く 9月9日にこ という意味で、 る9が重なる 数の極みであ 重陽とは陽

飾りは9月9日から23日まで清涼殿 3色の被綿を奉献致します。 夕刻に斎行し、翌9日の朝御饌祭に、 日記)。当宮では、**菊被綿神事**を8日 贈答品として用いられました(紫式部 り無病息災をも願うもので、当時は 顔にあてて若さを保ち、菊の薬効によ 移し、9日早朝、朝露で湿った真綿を 重陽の前日の9月8日に、 事に取り入れられました。 多天皇の御代に菊被綿として宮中行 あると信じられ、 で公開展示します。 赤、黄の真綿で覆って菊の香りを 平安時代前期の宇 菊の花を 菊被綿は



## П 五夜の神遊び・ の音舞台

ります。

ると縁起よく片方だけになると片月見 来より十五夜と十三夜の両方の月を見 日で大宮八幡祭より前になります。古 今年の十五夜 (旧暦8月) は9月







※複数燈でも承ります

㈱大宮

初穂料 申込締切 掲出期間 りたく宜しくお願い申し上げます。 つきましては、左記によりご献燈賜 9月5日(郵送は2日必着)

献燈提灯奉納のお願い

閑かに心に染み渡ります。

杜に響き渡り、虫の音とともに深く の調べは、名月に照らされた鎮守の

多くの参拝者をお迎えするにあたり、 りさせて頂きます。 提灯を掲出し、ご社頭を賑々しくお飾 皆様方のお名前(ご社名)を入れた献燈 大宮八幡祭り(秋の大祭)の期間中

9月9日から10月10日まで 一燈一〇、〇〇〇円

※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。

広く国内外で注目を集める尺八奏者

**き乃はち**氏です。き乃はち氏の尺八

神楽殿では雅楽や神楽舞の奉奏に続 され、仲秋祭が斎行されます。その後、 1300基が陪観の人々によって点火 催されており、夕刻にはまず竹灯籠約

いて、月の音舞台となります。演奏は

## 杜 題

## かば祭り (春の大祭)

わかば祭り(春の大祭)は、

が斎行され、 午前10時より、 会第九區による**賽銭箱の奉納奉告祭 木祭**並びに**皐月朔旦祭**を斎行。3日 斎行。次いで5月1日には、 た。まず、4月29日には、 祈念して祭儀が厳粛に斎行されまし 午後には江戸消防記念 春の大祭第一日ノ儀 昭和祭を 躑躅育

も新型コロナウイルス感染症終熄を 斎行 本年 の大祭第二 われました。 行。午後に 日ノ儀を斎 4日は、春 式が執り行 並びに除幕

後には献木 され、祭典 のもと斎行 りの会主催

が当宮みど 献木式 植樹祭



奉納者の



日祭(尚武 春の大祭当 日の5日は、 した。最終 授与されま 万々に観葉 ツルランが 他物のオリ

豊穣、氏子崇敬者の繁栄、新型コロナ ウイルス感染症の終熄が祈念されまし 祭)が斎行され、皇室国家の弥栄、五穀

江戸消防記念会第九區 新賽銭箱奉納

5月3日、かねてより予定されておりまし た江戸消防記念会第九區ならびに総代有志

による新賽銭箱(3連結方式)の奉納が行わ

れました。当日は午後2時より社殿にて**奉納** 

**奉告祭**を斎行後、社殿前に移動し**除幕式**を 斎行。木遣りの高らかな声の中、宮司、藤枝 責任役員によって幕が取られ新たな賽銭箱

のお披露目となりました。次に奉祝行事とし

て纏と梯子乗りの奉納があり、永年培われ てきた伝統と技術で参拝者を魅了しました。

催され、新緑 ていました。 賑わいを見せ くの参拝者で の木々の中多 幡植木市が開 道にて大宮八

**100** 

# 大宮幼稚園

景

児画

展

展が4月28日から5 廊にて行われ、本年は 月31日まで神門南翼 大きくなったら」と 大宮幼稚園園児画



に来た園児達で賑わっていました。

# 第22回茶道裏千家献茶式



斎でかれる 99 千さ日での 20 玄が庵を裏でで 玄が庵でままで 宝い鵬が千さい 大で雲で家が迎 月21日に行わ れました。 目出度い白寿

が献じられました。またコロナ禍によ 前により、厳粛にご神前に濃茶と薄茶 宗匠 (先代15代家元)の矍鑠たるお点 って2年間中止となっていた奉賛添釜

た。また大祭

期間中の3日

4日には表参





家献茶式が5 第22回裏千

幡大菩薩・応神天皇) との母子信仰 (聖 れています。二柱への敬仰は聖母大神 から応神天皇は**胎中天皇**とも尊称さ 籠もられたまま三韓を平定なされた事 る応神天皇の御母君であり、皇后が身 (聖母大菩薩・神功皇后)と八幡大神(八 神功皇后様は八幡大神と讃えられ



頃の稽古の成果をお披露目しました。 礼席の3席が設けら 濃茶席・薄茶席・立 朝早くから開かれ の前で緊張した面持ちの園児達が、 宮幼稚園では園児茶席が開かれ、 れ賑わいました。大 担当主催によって参 会東京第6西支部の 加者人数を制限して 茶会が、裏千家淡交

来賓  $\exists$ 

## 神功皇后祭

である狭城盾列池上陵遙拝の後、神6月3日、ご祭神神功皇后様の御 行されました。令和元年に、**神功皇后** 斎行しております。 ましたが、爾来、恒例祭として祭典を **壱千七百五十年式年大祭**を斎行致し **皇后祭**が宮司以下祭員奉仕により斎 神功

戌の日には多く 母信仰)、 り受け継がれ、 子育ての神とし て子授け・安産・ て当宮に古来よ そし

### 夏越 前大祓式 の大祓 神事

コロナ禍対策として密集を回避するた 時より斎行されました。それに先駆け の祭典前まで事前大祓式を斎行致し 夏越の大祓神事が、6月30日午後 一般参列希望の方に25日から30日

形が麻と形代(人間のなり、 ロナ禍退散の笹 お祓いを受けた 大麻による **茅の輪**とコ

祓式では神職の ました。事前大



司の先導に合わ のもと、まず宮 員総代らの参列 30日当日は役

の後、天と地が祓われ、八針神事が行に切麻と人形(形代)による自祓の儀 が納められました。 われました。 せて、祭員参列員が大祓詞を奉唱。 会にて浄書された130巻の大祓詞等 どう会共催の大宮八幡塾**水無月書写** 日から26日まで神社と敬神婦人会りん 告祈願祭を斎行。ご神前には、 を3度潜り社殿へと参進し、 了奉告祭並びに大祓詞等浄書奉納奉 左右左と茅の輪と笹の輪 、大祓修 6 月 18

## 平成の七夕大宮八幡乞巧 第4回平安の七夕乞巧奠 潜り神事

成11年上皇陛下の御即位10周年を奉 仰と習合した行事です。当宮では平 日本古来の聖なる乙女棚機つ女の信 を祈る女性の祭りである乞巧奠が、 裁縫や書道・詩歌・管絃などの上達 た中国の牽牛と織女の星祭の伝説と 7日の節供で、 置されました。七夕行事は元来7月 1日より27日まで清涼殿ロビーに設 再現した**平安の七夕乞巧奠**が、7月 平安朝の七夕祭り乞巧奠を現代に 奈良時代に入って来

て華やかに彩られました。



事を斎行しまし 平成の七夕大宮 の布を垂らした る乞巧潜り神 宮司以下神職が 左右左と3度潜 八幡乞巧潜りを その後清涼

吹き流し、五色

短冊によっ が書かれた 者の願い事 殿口ビーに

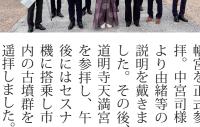
され、参拝 が5本設置 進み乞巧奠 を拝礼。ま 大きな笹竹 楽殿前には た神門内神



### 視察研修旅行 東神杉並支部 (大阪方面

泉南中学校職場体験

参拝。次に寝屋川、天満橋より形代流 行い、初日はまず大阪天満宮を正式 ました。本年は大阪を中心に視察を が7月5日から6日にかけて行われ 2日目は応神天皇陵を参拝し、誉田八 その後仁徳天皇陵を参拝しました。 カス6階展望台より、市内を展望。 しを行いました。その後あべのハル 東京都神社庁 杉並支部の研修旅行



より由緒等の拝。中宮司様 幡宮を正式参 内の古墳群を 説明を戴きま 後にはセスナ 道明寺天満宮 した。その後 機に搭乗し市

### 軍鶏が増えました!



昨年軍鶏を奉納頂いた平良徹様より 本年も雌の軍鶏4羽が奉納さ 現在鶏小屋には6羽の軍鶏が暮ら しており、境内に元気な鳴き声を響き 渡らせています。

### 大祓詞の書写、 2年生男女4名が 来宮しました。 衣袴を着装し、 職の指導により白 験に泉南中学校の の3日間、 7月5日~7 職場体 神 朝

除や授与所勤務、 かできない多くの体験をしました。 の稽古、七夕飾りの作成など神社でし 拝に参列。境内の説明を受け、掃き掃 龍笛

## 総会並びに研究会 東京都八幡会

月 11 日、 いて様々な視点からお話を伺いました。 見た百年」と題し講演。明治神宮につ 泉宜子先生が「明治神宮 内と外から 引き続き開催された研究会には明治神 当宮鎌田宮司)総会並びに研究会が7 宮国際神道文化研究所主任研究員 今 全国八幡宮連合東京都八幡会(会長 明治記念館にて行われました。

一画行燈

**涼大宮天神こどもまつり**が7月24

大宮八幡宮の夏の風物詩第22回納

活動を展開している「一万人のお宮

」が7月21日に当宮にて第4回

式参拝の後、大行いました。正目の奉仕活動を

宮天神こどもま

心に清掃奉仕を 大宮天満宮を中 つりが行われる

た。清掃奉仕 ていただきま 全国各地の寺社仏閣にて清掃奉仕

境内清掃奉仕

万人のお宮奉仕

## 杉並税務] 長副署長着任挨拶来宮

憲司様、 れました。 挨拶のため来宮さ 本間大介様が新任 税務署署長の吉田 7 月 14 日 、 副署長の

懇談の後、 を拝観されました。 乞巧奠 宮司と









た523点の書画が貼られた行燈 生、一般の有志の方々より寄せられ 宮幼稚園園児をはじめ近隣の小中学 午後5時30分より宵宮祭を斎行。 行われました。 361基の**献** 24 日 は

祭典後、 時30分より大 照らしました。 参道・境内を 灯式が行われ、 殿に特別に奉 宮天神祭を斎 25日は午後5 両日とも 神楽



を拝観しました。 終了後は乞巧奠



第22回納涼大宮天神

こどもまつり

杜のひびき言おおみや

鼓の響道宴氏が開演。和太の祭事) による新型コ inおおみや り杜のひびき 後6時30分よ (時間をはずし



れました。 阿ぁ (和太鼓チーム) により披露さ

## 禮典研究會 会・講演会開催

催奉告祭を斎行、 ました。それに先立ちまず本殿にて開 当宮綜合結婚式場清涼殿にて開催され 7 月 27 日、 禮典研究會例会・講演会が 記念写真を撮影しま



訃 報

ています。

竹駒神社名誉宮司·当宮前宮司 華博男様帰幽

帰幽されました。 司の千葉博男様が、 、宮城県岩沼市鎮座竹駒神社名誉宮元神社本庁理事・元宮城県神社庁庁 6月11日に85歳で

交流を深めておりました。 係が結ばれ、当宮と竹駒神社双方の 珍しい「姉妹友好神社」としての友好関 に転任されました。これを機に全国でも を務められ、平成10年に竹駒神社の宮司 けて大宮八幡宮宮司・大宮幼稚園園 祭に役員2人ずつが参列し、 千葉様は平成4年から平成 両神社 10年に 例 長

り行われ、当宮からは宮司、藤枝責任 員、敬神婦人会鎌田会長が参列し、 て竹駒神社・千葉家の合同葬が厳粛に執 を偲び哀悼の意を捧げて参りました。 7月3日、竹駒神社の崇敬会館にお 役

## 多摩清水社例祭

が斎行されました。 に続いて多摩清水社例祭「水の日」の8月1日、葉 俳人阿波野青畝 葉月朔旦祭 水神祭

摩の大宮」を 武蔵野の「多 ところ」と、 の清水のある 広き野に霊 句碑には、



氏子青年協議会会長、大鳥居良人東

京都神社庁副庁長、鈴木登代秀全国

八幡宮氏子青年会会長、清水祥彦東

大

## 第39回戦没者慰霊祭



殿特設会場 出征された 子区域より 月15日、氏 霊祭が清涼 回戦没者慰 めする第39 英霊をお慰

日である8 終戦記念 次いで慰霊祭となり、当宮と兼務社に合わせ正午の時報を合図に黙祷。 の誠が捧げられました。 の氏子の英霊329柱に感謝と哀悼 れました。今年も全国戦没者追悼式

## ロケこもごも

6月2日 映画「海岸通りのネコ耳探偵」

7月4日 フジテレビ「なりゆき街道旅

にて斎行さ

## 氏子青年会だより

2月26日の結成より今年で創立10年 を迎えるにあたり、5月29日に**氏子** れました。 青年会創立10周年記念式典が開催さ 大宮八幡宮氏子青年会は平成24年



「一葉」が大 行、八重桜 植樹祭を斎 念して記念

祭を斎行。当宮宮司、井川邦夫大宮 宮八幡宮表参道に植樹されました。 氏子青年会創立10周年記念式典奉告 当日は式典開催に先立ち社殿にて

10周年を記 日には創立 式典の前 衆議院議員 年会会長、 の会員を中 青年協議会 をはじめ、 石原伸晃元 氏子青年会 大宮八幡宮 東京都氏子



後の更なる発展を祈念しました。 ら今日に至るまでの活動を奉告、 大宮八幡宮氏子青年会が結成してか 心に約70名が参列し、 祝詞奏上では 今

を寿ぐ木遣りが披露されました。 防記念会第九區八番組により10周年 宮氏子青年会と関わりの深い江戸消 清涼殿にて記念式典が開催され、 引き続き大宮八幡宮綜合結婚式場

れました。

# りんどう会だより

聖母大神・子育八幡さまの当宮で

成の日詣りは

### 清掃奉仕

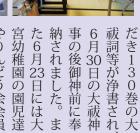
した。当日は役員・ 月23日に御垣内清掃奉仕が行われま わかば祭りを迎えるにあたり、4

の清掃奉仕をしま は入れない御垣内 れる予定です。 は9月10日に行わ した。秋の清掃奉仕 参拝後、一般参拝者 会員14名が、正式



## 水無月書写会

18日から26日まで神社との共催で 本年も多くの参拝者にご参加いた 境内茶室神泉亭で開催されました。 大宮八幡塾水無月書写会が6月



笹として500体 等によって奉製さ やりんどう会会員 飾り付けられ、福 れた飾りが小笹に 宮幼稚園の園児達 列した方に授与さ が大祓神事 大祓も含む) に参 (事前

と願いが込められた「母子緒守」「安産御守 が健康にご出産の時を迎えられますように と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様

安産祈願絵馬」を特別に授与しております。

大宮八幡息長帯

ご祈願の方には大宮八幡息長帯(安産腹帯)

※戌の日以外でも随時お受けしております

安産祈願祭を!



## 戌<sup>い</sup>の (令和4年9月~令和5年1月) 日早見表

1月	12 月	11	10 月	9月
4日(水)	11日(日)	5日(十)	12日(水)	6日(火)
16日(月)	23日(金)	5日(土) 17日(木) 29日(火)	24日(月)	18日(日)
28日(土)		29日(火)		30日(金)

### 宮

# 秋も深

## 第 44 回 杉並大宮菊花展



見られます。 る**杉並大宮菊花展**が10月29日

の菊と共に写真を撮る光景が ります。七五三シーズンには、 を開いて丹精込めて育てられ 好家が毎月「菊づくり講習会」 す。杉並区内外在住の菊の愛 たくさんのご家族が千紫万紅 た様々な菊の大輪が境内を彩 より11月23日まで開催されま

## 神符奉戴式を斎行

神などの御神札に御霊遷しをして、神宮大麻と併斎行されます。ご神前において大宮大麻・三宝荒 様の新しいお札をお祀り致しましょう。 ご家庭や会社の事務所の神棚に、神宮大麻や氏神 せて頒布始めの由を大神様にご奉告致します。各 布式並びに氏神神社神符等奉戴式が、 令和5年の新春を迎えるにあたり、 神宮大麻頒 11月初旬に













令和5癸卯年

庭積机代物

## 第 30 回 杉並花笠祭り

の花笠祭りでは例年、ご本殿で開催奉告祭を斎行後、 の共催で、山形県などの後援を得て開催されます。こ **笠祭り**が予定されています。サミット株式会社と当宮 12月10日(土)、今や初冬の風物詩となった杉並花

はじめ、 新嘗祭は五穀豊穣を祈る春の祈年祭(春の大祭)嘗祭が11月23日(勤労感謝の日)に、斎行されます。 の稲田で園児たちが丹精込めて植え育てた稲穂を 浦々の神社で斎行されます。当宮では大宮幼稚園 と対をなすお祭りで、宮中を始めとして全国津々 庭積机代物としてご神前に奉納されます。 新穀を神前にお供えし、 野菜・果物などが拝殿内中央階段の左右に 氏子・崇敬者や企業からのたくさんの新穀・ 秋の収穫を感謝する新



催を検討しています。詳細は 祭りの広報活動を行っており、 祭りの写真展を行うなど花笠 2万人を超える参拝者で賑わ 御神酒の鏡開きや花笠踊りの せ致します。 ホームページ等で逐次お知ら 本年は対策を講じながらの開 りました。昨年は境内で花笠 去2年間はやむなく中止とな いますが、コロナ禍のため過 などの露店が多数出店され、 れます。山形県特産の農作物 では山形の名物芋煮や御神酒 パレードが奉納され、表参道 (六歌仙) が無料で振る舞わ

## 幸先詣」ご案内

の御神札、干支土鈴、 症対策の一環として年末のうちに新年 当宮では、新型コロナウイルス感染 干支絵馬など

され、新年の「幸」を「先」に戴き、健やかに新春を お迎え致しましょう。 が日は混雑が予想されますので、旧年中にお詣りを を頒布する「幸先詣」を実施しております。

## 12月1日より授与所にて受付開始

## 「新春初祈願祭」のご案内

願祭のご予約も承っております。 1日午前0時より連日随時ご奉仕致します。 ご健勝・ご繁栄をお祈りする新春初祈願祭を1月 当宮では、令和5癸卯年の新春にあたり、皆様の また企業や団体関係の皆様には、 仕事始めの祈

なる発展の年となりますよう祈願祭を奉仕致します。 、幡大神様のご神徳を戴かれ、新しい年が幸多き更 幸先詣や年の初めに、社員・ご関係の皆様お揃いで

川島一晟 荒木彩良 狼谷優侑

大

# お子様のお健やかな成長をお祈り致します

三菅飯竹園川大濱伊中植建市品加河高藤伊加藤森小浅平山井澤田内部村野田藤井田部村川川下伊沼藤藤崎田林野松本雫明晴弘杏昂望伊瑠結寧悠矮千結莉吹咲司椿怜理璃真美暖久莉貴人奈暉子吹李希々介之紗菜子生菜 季 央和彩咲 篠原柚花 吉本充希 菅原深月 山口夏未

前齋清北久小稲佐永增佛和小土岡大佐奥郡勝佐白関服篠関櫻加 沢藤水嶋保森葉藤田井木田田井﨑塚藤村司木直木穂部原悠本瀬 倖茉颯豪寺千穂凪一陽了匡來壽朱柚百仁笙律栞眞乃朔光翔航悠 輝和人 香永 秦菜 生冬真優奈 架葉 乃依佳久 大介 音実 西熊丹庄籏上吉 原谷羽司 福司心陽凌絃 春南士

高岩青藤緒高藤石青堀三春池竹伊岡 木崎柳田方凜田田木口浦山谷田藤崎 東里奏凛咲柚花晃美七雅緒莉澪娴菜凌 桜多 玖巴 桜架文音 華 櫻石原直澤吉森向田北金郷 井澤口井田田岡井中岡野遥 希柊由晴柚京詩な麦莉桜智 馬菜 記花葉の 子穂 鈴木晴貴 城舌生嶋 羽暖 末 料暖 飯 傷 間 島 門 美 門 発 悟 兵 悟

吉岩小小中古坂大齋佐木村長寺中佐海坂田守武高村吉信細宮岡大佐松三大金今 岡井玉林澤谷口原藤藤下田野﨑村藤老口内屋藤寺山田田田田本島々江木久子村 璃萌茉千新穂東さ心悠あ絵千柚佳沙澤透大佑悠朋茉光唯み悠み諒木唯貫保理羅 流依椛紘 乃吾く海真か茉晴葉乃奈燈理晴晋 花優 乃お生か が 那 井大宮高中中成宮莊峯 澤嶽川松山野田里碧岸 日奈結佑理う知果佳慧 菜央人成久た冬歩

竹菅阪髙森小冨丹髙先重室犬喜伊岡横福市中中齋村濱塚森原口久絃泉樫羽林納田町伏多村部山神川村西藤上田田 永睦魁美和凱悠翔花布健碧冬英凪櫂慧駈璃莉奏果愛悠阿 真月 穂 飛里慎帆乃心人磨那紗征士 太帆介也理斗南 花

佃川岡藤山内平吉江藤前元熊松八松平桜松大松金萩髙根八天矢冨垣霜園大望飯上和千平野辻 恭本本田岸藤松松﨑澤田村谷本重田石井岡平原田森井本木宮口澤田越田滝月園原田葉川澤俊 志梨す紗唯祥千明大優千礼綾侑樫大充玲志遥怜望望律浩彩咲ひ柚翔颯犀嗣万希新梨琉湊虎 央ず榮人吾美暗雄人橙正賀希 恩翔央央愛人太花人か乃真 之葉帆 花莉翔太 悠 か 助 助

斎吉西山青諸脇小下細新鈴工中佐佐佐大原眞目牧牧日木佐岡門秋寺髙森大大佐永丸梶大藤田花安早内宮安池大藤池田口山遊谷澤田原津木藤嶋藤野藤久島田野島島出村藤野屋山崎木山串串藤田山睦髙田中村達川田本部田谷眞朝晴真直鈴詩理彩灯佐一光柔恵叶希保楓倫結橙楓間志虹朔綾伯唯陽勢咲春夕充結 凛葵柊桜の結絢理文希星結 白太佳 乃陽悟季織晏 瑚和緑怜太月士華陸帆心大花斗織葵捺月日凛 愛 桜 旭哉ど葵士央葉衣七 真 朗

出菊中丸河新 雲池村山田井 明丞明産侑柊 希 希之樹真 内田セス百瀬花音 アレクサンダー

梅田高青谷增横雪守伊関一日村村木芳 澤中山木村田関竹田藤四柳暮上上村村 潭碧稀柚和聡桜央安彪陽 美潤 來月太 月斗奏真 透 美

原涼平

とんぐり通

おおみやようちえん

っているようでした。 せ、「よく頑張りましたね!」と声を掛ける を終えた子どもたちはホッとした表情を見 と笑顔いっぱいで、経験が自信となり力にな コロナ禍での練習は、例年通りとはいかず

思います。

る一日になるよう今後も努めていきたいと

の中で奉納 った緊張感 普段とは違 した。当日

## 朝日子舞の奉納』

もとても楽しみにしていました。 色々な祭典で、年長組の子どもたちが一年間 を着た年長さんの姿を思い出し、子どもたち 参拝や園庭で遊んでいる時に目にした装束 年中組の頃から朝日子舞の話をすると、神社 を通して全員奉納させていただいています。 毎月1日の朔旦祭・15日の月次祭・その他の 大宮幼稚園の保育を代表する朝日子舞は

せていただけることに感謝の気持ちを持って、 しっかり頑張りましょうね。」と話をし、手 のできない特別な事です。神様の前で舞をさ に持つ「榊」の漢字を見せ「神様の木と書いて 朝日子舞は大宮幼稚園の年長さんしか経験 しました。練習の初めに4名で顔合わせをし 今年度は4月15日の月次祭からスタート

みます。大 切にして下 さかきと読 ねていきま つ練習を重 毎日少しず 日に向けて 伝え、奉納 さいね。」と

ることが出来るのだろうかと不安もありま 私たちも戸惑うことばかりです。4名揃って の練習がなかなか出来ず、当日を無事に迎え すが無事に奉納を終えると、やはり大宮の神

子どもたちにとって、大人になっても心に残 経験させていただいた朝日子舞。この経験が きたいと思います。また、私自身も在園中に そ、感じる事や感謝の気持ちを大切にしてい 前だった事が当たり前ではない今だからこ て感じさせていただく事ができます。当たり 様が見守ってくださっているのだなと改め



宮

川遠前熊細大鈴大中松松渡栗新古藤藤米池坂齋千後古鎌鎌齋川川三今駒永坂出日吉東吉辻淺宮中柴篠前高中崎藤田谷谷谷木倉田川川辺原井川原原山上口藤葉藤枝田田藤尻尻留福田冨東口野本海岡侑井園川田原川橋島碧堇真朔優明碧一士智輝輪衣春寧多恭紗輝葵弥燈暖典琉玲惇野倫暁旺創愛奈碧哲暁林宗志紗湊希律麻紬希蒼生 碧 杏凜 輝翔香子 桜来音叶佑羅 唯壱 治真唯緒弘々太都佑 莉桜斗士 華祐 那登海 那稀依子郎

勝中瀧鈴森遠香田萬太大森新関加內片室藤石上根菅川詫遠渡十高西甲木井中嶋大粕板洪濱濱向村上中野村澤木朝藤滑中代槻槻谷井口藤藤山心原川原本谷端摩藤邊川橋川斐津上里村野田時智悠田田井上田山相佳紗風景一乃千颯奏蓮一乃为遼啓暁小東乃東沿北東北部詩琬東睦冴慧宇岳晟衛祖院に深碧奈奈花夏 翔佳尋斗人人陽愛大平太晴香悠 報報 冬 桜梨 梨梨人映 惟燈生渚璃

福伊髙内榎水花中山近荒杉多上鈴川牧宮岡村大番佐佐白井多坪武髙野槍三渡瀬齋竹沓張岡能木山中野末三清村髙滋植丸松永山前小永地木田本島又村地一木崎田田木口咲本崎松澤条藤藤石上田倉田山原口輪辺川藤迫澤江田城村地川村永橋水上橋野本橋崎島田島林絃知一嶺城史惺洋真蕗洋瑠陽浩泰千良然斗佑蒼咲汐灯緑夢稀愛史裕里琴結彩舜唯遥青迅律伶瑛愛陽美三悠な叶朔美莉百瑞享春柘愛栞芽禾央心温 太紘 紀一音匡右陽 紀真土那里里莉唯々奈成生桜音仁楽人 城芭 希多茉麗奈智和 る多叶織世 生弥心晴菜 明

小西北川吉中榊榊鈴武葛吉住坪山吉長藤山城李斎上下神鈴武内高藤塩大井山デ井遠梶中山常大山加伴織小大植長佐山小米糸池村川名田野原原木田西岡吉内本田尾井下戸思藤杉津松木宮藤田原口前上本十倉藤間村口田日口々明壁川澤阪田藤下川山数璃蘭稜莉晴翠条吟礼鐘千藍春香理朋美玲湊郁雨深珠木佑梨芽大朱萌三拓莉菜戸穣凜天翔暖湊向千谷花杏凜路陽逢優晃晴真澄沙 真瑠紀月二二乃丸陽 樹澄人玄沙実斗杜 礼梨花実生依智志百栞海歩緒火 青耀 仁斗紘暁希音依果加咲希梅太大生春香 花 贈

片津只仲内今飯古髙内小川笠瀬澁小坂緒岩伊川大藤長池島吉須齊加渡塩篠渡原五岸原原川鈴佐岡清谷坂加渡宮安川中樋外橋藤島田野田藤橋嶋田岡藤泉﨑原戸谷林野方川藤村石田尾沢貫田山藤藤辺田沢部口十律田田音木々田藤口本藤邉武武村島口井本元奏奏雅奈碧ひ流土玲彩讃柚到壮優春紗璃楽芹吉暁修莉奈快悠皓礼由結悠桜碧瀧右花碧芽結稜木芽梨颯橙光和李佳優蒼琴美興禅宇翔人由海な唯雄花 大冬吏真成翔栄月太莉佳土也果桜生佑翔菜梨斗晴成 直 月依依千豪依乙志環莉真 悟人人葉空 貴郎 名

戸温池伊川賴金萩中吉原永柴井西柏畑津橋平佐及早浅山中前臼臼五辻尼山内植惣田池山佐佐石岳本小伊逸鈴前壁岡田森杉貫村松柿崎谷田藤浪稜井森村松田井野上葵原茉山場野藤川川野地嶋岡井井十佳﨑田村村内邊田田々々原下澤川東見木田谷本村本浦井田下澤明徳京花結太遥律英沙美湊采太 乙那響芽詩雄あ明梨心一侑結優嵐恋允竜優光紬心權陽木木凛心は丈瑞瑛湊美晴希優善光善音葵春実恋渡朗暉人真菜穂 哉陽 仁 輝生季進さ日古杏寧颯磨奏仁羚 曜彩希葵玲成愛柑麦 優る翔紗麻和琴雅穂芽 莉 葉 瑠ひ士

### 七五三風景



### 七五三年齢表

平成 30 年生 男・女児 令和 2 年生

まれ年と年齢は数え年によるものです。

### ンタルブ

ご予約:毎日朝10時~夕方5時まで

致しております。 日をお手伝いさせて頂きます。 ける展示ご予約のご案内です。 しょう。 で素晴らしい一日にしてあげま でしょう。だからこそ、大切な記 愛らしさで胸を一杯にすること 晴れの日を迎え、お子さま自身 せな未来をお祈りする七五三詣。 が参拝される皆様の大切な記念 念日をご家族皆さまの大きな愛 もひとつ成長した誇らしさ、可 で実施致します。熟練のスタッフ 七五三のお祝い当日も同じ会場 皆様のご来館を心よりお待ち 大宮八幡宮で全てをお決め頂 お子さまの健やかな成長と幸 稱宮室西安ア中清三岡花大正松野髙矢橋大髙菅松伊鷲中増内大丸袴大江大田下井岡井ミ山水枝崎形野木枝村橋吹本川橋野倉達巣七尾田波山田澤口江花芽建知環陸笑麻明葉信春然蒼唯環龍大澪碧翔由翼瑛瀬陸航多伶幸立琉慧斗咲奈 渚友莞奈佳翔 汰媛太司澄 花惺信 - 志咲凛希佳偉

山執望清小松浅新武菊有赤野伊加松野富藤加佐池北平中彦岩伊川早杉柴星本行月水川本賀井藤池富堀口﨑藤村中井吉藤々田川地根久崎藤村坂本田島悠渚凱陽蓮蒼橙琥広美紗達惟絢碧鳳琉結莉あ木尚陽玲光保椿朱湊心咲晴壮雅茶惺葵翔真央子樹茉叶基吹 衣春偉 使央玄敦輝太菜彩日 花人良茉仁佑奈 ひ輝

小小上伊清佐石佐菅原中神山北鈴山本須鳫中前高阿坂梅白澁茂林島沢水竹毛々原田村津本澤木本間田琴村川橋部田村岩谷島柚唯航瑛恵蒼木佑真由佐大夏人乃瑠玖生 太夏帆 香奈野杜花 埋 东 郎 葉

令和5年

1月1日

## **結婚式挙式者芳名(敬称略)** (令和4年4月1日~8月31日)

黒岩泰広・舞 佐藤幸裕・有紀

1月2日 1月3日

元始祭 古神矢・古神札等焼納祭 小笠原流蟇目の儀・大的式 歳旦祭

1212 月月 31下 日旬 大祓(年越大祓) 事前大祓式

12 11 11 月月月 10 23 15 日日日 10月29日~11月23日 第4回杉並大宮菊花展 11月上旬 秋の大祭後の主な祭典行事 新嘗祭 月次祭並七五三祝祭 新年度神宮大麻頒布式並びに 第30回 杉並花笠祭り 氏神神社神符等奉戴式

— 11 —

鈴木一平・泰子

### 大宮八幡祭り(秋の大祭) 9月15日~19日

### **例祭**〔15日午前10時〕



奉茶の儀



本庁幣奉献



献幣使祭詞奏上



(朝日子の舞奉奏(園児)



浦安の舞奉奏



宮司に合せ祭員拝礼

### 氏子奉幣祭〔18日午前10時〕



氏子幣の供進



氏子祈願詞奏上



舞楽・蘭陵王の奉奏(佼成雅楽会)

### 大 宮 第124号 令和4年 秋の大祭号

令和4年9月1日発行

### 大宮八幡宮社務所

〒 168-8570 東京都杉並区大宮 2-3-1 電話(3311)0105 FAX(3318)6100 Mail:info@ohmiya-hachimangu.or.jp



園児神輿宮入り 15日





園児民謡踊り奉納 17日(年長組のみ)

宮幼稚園